

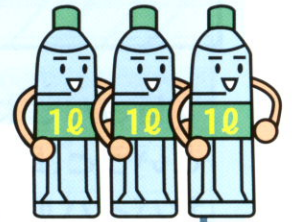
# 災害時のワンポイントアドバイス!

Point!

1

## 水のくみ置き!

$$\begin{aligned} & \text{家族人数} \times 3\text{L}/\text{1日} \times 3\text{日} \\ & = \text{くみ置き水量(おすすめ!)} \end{aligned}$$



- ◆密栓できる容器を用意し、よく洗います。
- ◆水道水を容器の口までいっぱい入れ、ホコリや雑菌が入らないようにしっかりフタをします。  
※水道水に含まれる残留塩素ざんりゅうえんそは、空気に触れる面が少ないほうが長く保存できます。
- ◆直射日光を避け、冷暗所に保存します。  
※直射日光を避ければ、約3日保存できます。  
(飲料可能期間は保存状態、季節により異なります。)  
浄水器を通した水には塩素による消毒効果(残留塩素)がない為、保存には適しません。  
毎日の組み換えをお勧めします。
- ◆くみ替えた水は、掃除や洗濯などにご使用ください。

Point!

2

## 生活用水のくみ置き!

- ◆お風呂の残り湯はなるべく残しておきます。  
※水洗トイレの雑用水に利用でき、他の生活用水にも使用できます。



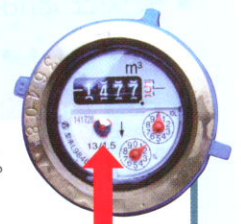
おまけ 雨水を貯めて災害時の生活用水にもできるようです。

Point!

3

## 漏水チェック!

- ◆水道メーターについているパイロットが回転しているか確認します。  
回転していればどこかで漏水している可能性があります。  
メーターボックス内の止水栓を閉めましょう。



なぜ? ご家庭までの水道管を破損修理しても、水道メーターより家側の水道管が破損・漏水してあれば、大切な命の水を捨てることになります。

災害時・断水時は、給水車又は給水タンクを設置し、住民の皆様にご給水しますが、交通手段の断絶や渋滞等により、水を届けるまで時間がかかると予想されます。

※阪神淡路大震災の時、神戸市では、応急給水体制が全て整うのに約3日間かかったようです。

常日頃からポリタンク・給水袋などの防災グッズ備えたり、水のくみ置きを心掛けるようにお願いします。